

【 バックナンバー 】

- 2019年12月号「チェコ周遊 平和・交流の旅」(皆内マサ子・眞鍋章信) / 「安倍政権とメディアの課題 そして表現の不自由」(永田浩三) / 「新婦人協会発足100年に 平塚らいてうさんとの出会いを振り返る」(折井美耶子) / [わが愛]「ひろしまからちひろへ」(石内都)
- 2020年1月号「暮らしをこわす消費税増税」(内藤照子・森吉秀樹・馬場一郎・木ロカ) / 安倍改憲との対決は今まさに正念場 (小沢隆一) / **新連載**「全日自労は私の青春」(松澤悦子) / 「ジェンダー平等社会をめざして声をあげ続ける」(高橋奈夕) / [わが愛]「CEDAWダンスを一緒に踊りましょう」(堀口悦子)
- 2・3月号「2020年国際女性デー」「刑法改正に向けて〜」(角田由紀子)・「ハラスメントの根絶を」(長尾ゆり)・「100年前の『女の元氣』を現在にいかす」(米田佐代子) / 「徴用工問題の基本にあるもの」(大森典子) / [わが愛]「フラワーデモで広がる女性たちの声」(北原みのり)
- 4月号「日本経済のホントの姿」(山家悠紀夫・田川英信) / 「憲法違反の中東派遣」(吉田健一) / 伊藤詩織さんへの性暴力事件・勝訴判決 (西廣陽子) / **新連載**「パリの街かどから」(飛幡祐規) / [わが愛]「音標開拓部落と脱走兵との出会い」(高橋三枝子)
- 5月号「雇用によらない働き方」(北健一・菊池和彦・森崎めぐみ) / 韓国の漫画「草」日本語版出版 (関千枝子) / ジェンダー4 署名「所得税法第56条の廃止を」(土井淳子) / **新連載**「仲間と共に生きている一保健師として、労働運動、地域で」(駒田富枝) / [わが愛]「痴漢と言う性暴力」(牧野雅子)
- 6月号「コロナ禍の日本—国民のいのちと暮らしは?」(山本民子・岸本啓介・塚田豊子・藤原麻子・小畑雅子・伊藤希・卯城ひさる) / コロナ危機 世界の女性のたたかい 国際民婦連(WIDF) / ジェンダー4 署名「民法・戸籍法の差別的規定の廃止・法改正を」 / [わが愛]「在留ベトナム人の『駆け込み寺』命と人権を守る」(吉永慈豊)
- 7・8月号「コロナ禍の日本(II) 国民のいのちと暮らしは?」(澤田幸子・森田しのぶ・藤原るか・高杉末子・寺内順子・芦田麗子) / ジェンダー4 署名「『慰安婦』問題の解決を—『慰安婦』制度は、今日につながる最大の性暴力」(吉川春子) / [わが愛]「新型コロナウイルス感染症で失われたもの」(前田佳子)
- 9月号「今、ケアに満ちた政治を求めるとき—コロナ禍が露わにした特権的な無責任」(岡野八代) / 「アメリカ黒人の命を奪う『2つのパンデミック』—新型コロナと人種差別」(矢部武) / 「守谷武子さん(元婦団連会長)を偲ぶ」 / [わが愛]「動物視点からみた道徳教材」(渡辺典子)
- 10月号「コロナ禍の教育を考える」(前川喜平・畑屋早苗・折出幸・中野佳代) / 「コロナ禍で公演が中止!」(中川美保・楯岡真弓) / **新連載**「女性医師の見た新型コロナウイルス感染症」(前田佳子)・「地球温暖化」(歌川学) / [わが愛]「大学って何だろう」(あかたちかこ)
- 11月号「コロナ禍でも進められる『戦争する国』への道—『敵基地攻撃能力保有』の議論と危険な現状」(半田滋)・「木更津が陸上自衛隊オスプレイの一大拠点に」(紙谷敏弘)・「~米軍ヘリ部品落下事故をうけて」(宮城智子) / 中学校教科書採択 (鈴木敏夫・土志田栄子) / [わが愛]「マンガ『100日で崩壊する政権』」(ぼうごなつこ)
- 12月号「女性たちのたたかいはつづく」(内山佳子・柿田彩・加藤健次) / 戦後75年—戦争被害を語り継ぐ (浅井春夫・西村幸吉・杉村幸子) / [わが愛]「すべての人に星空を」(高橋真理子)
- 2021年1月号「2021年のいのち・暮らしを守る政治に転換を」(長尾詩子) / 「私たちは行動する—若者たちの決意」(疋田万理・入福日向子・久保田亮) / 「ステイホームの日々—世界シネマ旅」(具島順子) / [わが愛]「ジェンダー平等に向けて—日本学術会議の提言から」(三成美保)
- 2・3月号「2021年国際女性デー」 / 国際民婦連(WIDF) 創立75周年 コロナ禍のなかで各国のたたかい / 労働契約法20条裁判最高裁判決 (今野久子) / 持続可能な食と農をめざして (藤原麻子) / 被爆体験集 (山野井恵子) / [わが愛]「女性と安全保障—チャウドリー大使の先見の明」(鷲見八重子)